純正オプションノズル　　すべてのレバー式グリースガンに取付可能です

分　類	製品番号	型　式	全長 mm	質量 g	用　途
マイクロホース 常用圧力： 21MPa	850664	SPK-1C	355	141	ピンタイプフィッティング用
	850665	SPK-2C	375	180	ボタンヘッドフィッティング用
	850666	SPK-3C	330	83	ハイドロリックニップル用
	850478	SPK-1C/1M	1069	189	ピンタイプフィッティング用
	850479	SPK-2C/1M	1070	242	ボタンヘッドフィッティング用
	850480	SPK-3C/1M	7030	132	ハイドロリックニップル用
	850392	SPK-5	414	300	ハイドロリックニップル用
	850381	SPK-20C	377	320	ボタンヘッドフィッティング用
	851268	SPK-700E	691	510	ハイドロリックニップル用

グリースフィッティングの種類

ハイドロリック ニップル
HYDRAULIC NIPPLE
JIS B 1575

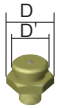
A タイプ

B タイプ

C タイプ

一般的にベアリングや軸受け等の給油口に 最も多く使用されているのがこのタイプです。
ストレートタイプとアングルタイプがあり取付場所により選びます。

ボタンヘッド フィッティング
BUTTONHEAD FITTING



標準タイプ（D= Φ 15、D'= Φ 12）
大型タイプ（D= Φ 22、D'= Φ 17）

土木・建設機械などの給油口に多く使用されているのがこのタイプです。
ボタンサイズが大小あり、スライドして接続します。

ピンタイプフィッティング
PIN TYPE FITTING

農機・鉄道車両などの給油口に使用されているのがこのタイプです。
凹形状の内部に取付けられ、上部にフタがある場合もあります。

グリースフィッティングの頭部は JIS（日本）SAE（アメリカ）DIN（ドイツ）など各国共通ですが、弊社の製品は JIS の規格に合わせて製作しております。最近この規格に合わない寸法もありますので確認、注意が必要です。

株式会社 ヤマダコーポレーション

本 社・営 業 部　〒143-8504 東京都大田区南馬込1丁目1番3号 TEL (03)3777-4101(代)
FAX (03) 3777-3328
東京営業所　〒143-8504 東京都大田区南馬込1丁目1番3号 TEL (03)3777-3171(代)
大阪営業所　〒537-0025 大阪市東成区中道3丁目15番2号 TEL (06)6971-5301(代)
名古屋営業所　〒463-0052 名古屋市守山区小幡宮ノ腰7番38号 TEL (052)795-0222(代)
福岡営業所　〒812-0888 福岡市博多区板付5丁目18番14号 TEL (092)581-5477(代)
札幌営業所　〒062-0002 札幌市豊平区美園二条6丁目3番16号 TEL (011)821-0630(代)
仙台営業所　〒983-0034 仙台市宮城野区扇町2丁目2番44号 TEL (022)232-4743(代)
広島営業所　〒733-0833 広島市西区商工センター5丁目3番5号 TEL (082)278-5341(代)
相模原工場　〒229-1112 神奈川県相模原市宮下1丁目2番38号
URL: http://www.yamadacorp.co.jp

※ご使用中、異常に気が付いたら、当社営業所か取扱販売店に御連絡ください。
異常や不明点の御相談を受け賜ります。

yamada
No. OSA 027U-03

グリースガン取扱説明書

（KH・CH・GC シリーズ）

このたびは、ヤマダのグリースガンをお買い上げいただき、厚く御礼申し上げます。
本書は、お使いになるグリースガンが故障なく十分にその性能を発揮するよう、正しい使い方およびご使用上の注意について説明したものです。十分熟読し、ご理解いただきますようお願いいたします。
なお、環境保全のためメッキ処理が三価クロムメッキとなり一部変色のように見えますが、機能上は問題ありませんのでご了承願います。

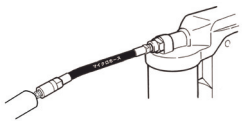
⚠警告

グリースガンは、グリースを高圧で吐出します。自分の手または人に向かって吐出させると重傷となる恐れがあります。下記の注意事項を守ってご使用ください。

- グリースガンを使用する前に、給脂ノズル、給脂ホース、ネジ部当の損傷がない事を必ず確認してください。
- 給脂の際には保護メガネ、厚手袋（皮手袋等）を必ず着用してください。
- グリースガンの操作が重かったり、グリースが先端部から漏れる場合は、無理に押し込まず原因を取り除いてから給脂してください。
- 万一、グリースが人体に貫入した場合や目に入った場合には、直ちに専門医の診察を受け、適切な処置をしてください。また、皮膚に付着した場合は炎症を起こすことがありますので、水と石鹸で十分に洗い流してください。

⚠注意

- 給脂箇所により、給脂中のノズルやホース内は高圧となることがあるので手を添えないでください。
- 給脂ノズルがホースの場合は、使用により劣化しますので２年毎に純正品と交換することをお勧めします。



仕様

製品番号	型式	全長	質量 kg	油槽径	容量 (mL)	吐出量 / ストローク	最大圧力
854297	GC-57K	411	1.70	56.5	500(400g 筒型カートリッジ・手詰兼用)	1.60mL	25MPa
853920	KH-120	250	0.55	36.1	140（85mL カートリッジ）	0.60mL	20MPa
853923	KH-35	319	1.23	60.5	400(210mL カートリッジ)	1.00mL	25MPa
853935	KH-32	393	1.44	60.5	200（手詰専用）	1.00mL	25MPa
853926	CH-400	397	1.68	60.5	400(420mL カートリッジ専用)	0.93mL	50MPa
853926	CH-400G	397	1.68	60.5	400(420mL 専用カートリッジグリース付)	0.93mL	50MPa
854284	CH-650LL	401	1.69	60.5	400(420mL カートリッジ・手詰兼用)	0.93mL	80MPa

KH・CH シリーズには、HSP-1 ストレートノズル（GC-57K と CH-650LL は CNP-2) が標準で付属しています。
上記仕様の全長・質量はノズルを含みません。また、表示の圧力は CNP-2 チャックノズル使用時の最大圧力です。

使用前の準備と注意

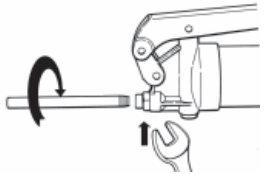
●準備　付属のノズル又は純正オプション（ホース･ノズル）を、グリースガン本体のグリース出口（Rp1/8 メネジ) にネジ込んで取り付けてください。グリースは、機種により説明にしたがって充填してください。

●給脂　グリースニップル（グリースフィッティング）とノズルの先端をきれいに拭いてからノズルを接続し、レバーを往復させてください。正常に注入されていますと、ニップル付近の溝・隙間から古いグリースが押し出されます。給脂する量は機械の取扱説明書を参照するか、古いグリースが完全に押し出されるまでとします。給脂箇所によってはグリースが出ない場合がありますのでご注意ください。

●保守・日常　特別な保守点検は不要ですが、グリース内にゴミなどが混入しないように注意してください。また、給油口のニップルに泥・砂などが付着しないよう、グリースガンと共に確認・清掃してください。給脂の際、レバーの動きが重い（普段と比較して異常に強い力が必要）時には、ニップルを点検してください。

●注意事項　最初に使用する場合、グリースが出にくいことがあります。その時は、必ずレバーを全開・全閉で操作してください。中途半端な操作では油筒内のグリースが吸引されません。

●ノズルの交換　付属のノズル又は純正オプション（ホース・ノズル）の取り外し･交換をする場合は、ノズルの取付金具 (本体部）をスパナで押さえて取り外し、新たなノズルを取り付け（交換）してください。



●ニップルとノズルの接続

図１ 標準ノズル　ハイドロリックニップル　ノズルの先端をニップルに垂直に押し当てながら給脂してください。

図２ チャックノズル　ハイドロリックニップル　チャックノズルです。ニップルに垂直に押し込み、チャックさせてから給脂してください。ノズルをニップルから取り外す時は、ノズルを傾け内圧を抜いてから取り外してください。

図３ ピンタイプ用　ピンタイプニップル　ニップルに垂直に押し込み、切り溝に沿ってニップルのピンまで完全にチャックさせてから給脂してください。

図４ ボタンヘッド用　ボタンヘッドニップル　ホース先端のチャックを横から差し込み、上部のネジを締め込んでから給脂してください。

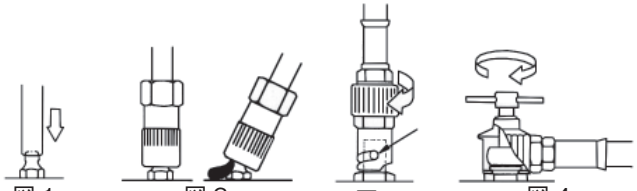
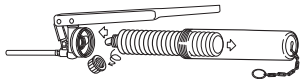


図１　図２　図３　図４

グリースの充填方法

カートリッジ兼用タイプ



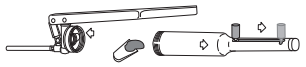
1. 油筒をネジ戻して本体より取り外してください。
2. チェーンを引いて油筒底の溝にロックしてください。
3. カートリッジグリース（指定 mL) のキャップを外してから本体にネジ込んでください。

※カートリッジグリースを使用しない場合は、直接油筒にグリースを充填してください。この時、グリース内にエアやゴミが混入しない様注意してください。

4. 油筒を本体に取り付けてください。
5. チェーンのロックを外し、油筒内に収納してください。
6. レバーを２～３回往復させ、グリースがノズルの先端から出るのを確認してください。

※グリースを直接油筒に充填して使用する場合に、レバーを操作してもなかなかグリースが出ないことがあります。これはグリース内のエアポケットが原因ですので、油筒を１～２回ゆるめ、エアを抜いてください。手詰容量は、指定容量以下で使用してください。

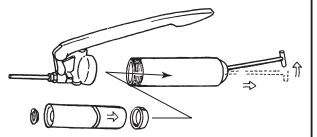
手詰専用タイプ



1. 油筒をネジ戻して本体より取り外してください。
2. ハンドルを引いて油筒の少しくびれた箇所の切り溝にロックしてください。
3. ヘラを使って少量のグリースを取り油筒の縁より静かに充填してください。（指定 mL) この時、グリース内にゴミ・砂や空気が混入しない様、充分に注意してください。一杯になりましたら１～２回油筒を軽く叩き混入したエア抜きとグリースを整えてください。
4. ハンドルをいっぱいまで引いて、油筒を本体に取り付けてください。
5. 以上で充填は完了です。補給も同様に行ってください。
6. 使用する時は、ハンドルを切り溝から外して、戻してください。スプリングの力でグリースが加圧されます。

※レバーを操作してもなかなかグリースが出ないことがあります。これはグリース内のエアポケットが原因ですので、油筒を１～２回ゆるめ、エアを抜いてください。手詰容量は、指定容量以下で使用してください。

GC-57K(筒型カートリッジ使用）



1. 本体と油筒をネジ戻して取り外してください。
2. 手で油筒を持ち、もう一方の手でロッドハンドルを引き、ロッドの少しくびれた箇所を油筒のロッド穴の切欠に掛けてロックしてください。
3. 筒型カートリッジグリースの両端のフタを、両方とも取り外し、大きい口の方（矢印の方）から油筒に装填してください。
4. 油筒に本体を取り付け、ロッドのくびれを切欠から外し、油筒の中に押し込んでください。
5. 以上で装填は完了です。交換も同様に行ってください。
6. 使用中に、まだグリースがあるのにレバーを動かしてもグリースが出ないときは、グリース内の空気が原因です。ロッドを前後に往復させ、内部の空気を逃がしてください。